

## 一生の思い出



藍住中学校 日浦 和佳奈

私は、今回の海外派遣事業で楽しい思い出をたくさん作ることができました。オーストラリアに行く前、ホストファミリーはどんな人なのか、自分の気持ちを伝えることができるか不安でした。でも、ホストファミリーはとても良い人たちでした。ホームステイ初日は、緊張して自分から話しに行くことはできませんでした。ショッピングに行っても、聞かれたことに答えるだけで会話ができずに1日が終わりました。2日目は小学校で活動を行いました。オーストラリアの人たちは大人も子どももフレンドリーで、向こうから話しかけてくれることがたくさんありました。休み時間も、何人かの子が話しかけてくれて小学校ではたくさん英語で話すことができました。その日はホストファミリーとも会話をすることができて、ホストファミリーの女の子とぬいぐるみを投げて遊んだり、一緒にデザートを食べたり楽しい時間を過ごしました。また、ホストマザーに洗濯はいつするのか自分から聞いたり、「明日、〇時に起こしてもらえますか。」と自分から頼み事をすることもできました。3日目からは、13歳から18歳の子が通っているカトリックスクールで語学プログラムを受けました。その学校は、授業でノートや教科書を使わず、自分のパソコンを使って授業をうけていました。モーニングティーや昼食は、バディの人と一緒に食べました。自分の家族のことや日本のことを話したり、相手の家族やオーストラリアの話の聞いたり、たくさん話すことができました。また、放課後はショッピングに行ったり、ビーチに行ったり、ホストファミリーが飼っている馬を見せてくれたり、いろいろなところに連れて行ってくれました。ホストファミリーのいとこの誕生日パーティーに行ったり、外食に行ったり、オーストラリアの食べ物もたくさん食べることができました。



私がオーストラリアに行って一番驚いたことは、日本との食生活の違いです。朝、昼、晩に加えて、モーニングティー、アフターヌーンティー、デザートと1日6食ぐらい食べます。でも、食べ物はすごくおいしくて、食事の時間も楽しかったです。

また、私は海外派遣でオーストラリアに行くということで一番心配していたのは英語です。自分の英語で伝わらなかつたら、まちがえて変なことを言ってしまうたら、と思っていました。でも、間違えることを怖がって話さずにいるのはもったいないと勇気を出して話してみると、思っていたより会話がはずんだりしました。伝えたくてもどうやって伝えたらいいかわからないということも、一生懸命伝えようとすると、相手も理解しようとしてくれます。言葉が通じる度、うれしくなって英語が今までより好きになりました。



この貴重な体験を日本でもいかせるようにもっと英語を学んで、次に、外国に行く時にはもっと英語が上達していけば良いなと思います。本当に楽しく、有意義な10日間になりました。